

**横浜市立**

**日野中央高等特別支援学校**

**二つ橋高等特別支援学校**

**若葉台特別支援学校**知的障害教育部門高等部

**令和9年度入学生3校合同説明会**

**横浜市教育委員会事務局**

**特別支援教育課**

2026年5月1日  
横浜市立高等特別支援学校等  
3校合同説明会資料

# 横浜市立高等特別支援学校等

## 3校それぞれの特色

# 3校それぞれの特色①（学校概要）

	日野中央	二つ橋	若葉台
開校	昭和56年	平成19年	平成25年
募集人数	64名程度	48名程度	28名程度
学科名	<b>専門学科（2科）</b> 工業クリエイティブ・流通サービス	普通科	普通科 肢体不自由部門併置
職業に関する授業	専門実習（8課）	職業コース（4コース）	校内実習（3コース）
学校教育目標	自ら学び、人と共に、より良い明日をつくる生徒を育成します	働く・自立・自己実現	一人ひとりを大切にした教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を充実させます
学校要覧等	グランドデザイン  学年目標 		

# 3校それぞれの特色②（職業に関する授業）

## 日野中央（8課）

### 工業・クリエイティブ科

紙工課



革工課



木工課



縫工課



メンテナンス課



オフィスサービス課



### 流通・サービス科

グリーンサービス課



ロジスティクス課



## 二つ橋（4コース）



### オフィス・ロジ （事務・庶務）

- ・名刺・印刷物作成
- ・ポスター・のぼり作成
- ・校内物品・自動販売機商品管理



### アメニティサービス （清掃・介護補助）

- ・校内・校外委託清掃
- ・ハマロード清掃
- ・ベッドメイキング・居室清掃



### 製造・加工（非食品）

- ・農作物栽培・花の植え付け
- ・ハイドロカルチャー作製
- ・マクラメ作製
- ・GREEN×EXPO 2027関連事業



### フードサービス （販売・流通・食品加工）

- ・カフェメニュー（ピザ等）開発
- ・カフェ運営・出張販売
- ・来客者案内

※毎月腸内検査必須

## 若葉台（3コース）

### オフィスサポート



### ビルメンテナンス



### パン工房



- 縦割りで（学年を越えて）授業を行う
- 1年生で複数経験、2年進級時に1つを選択
- 困ったときに相談できる力（相談力）を、対話を通して育む

# 3校それぞれの特色③（進路支援）

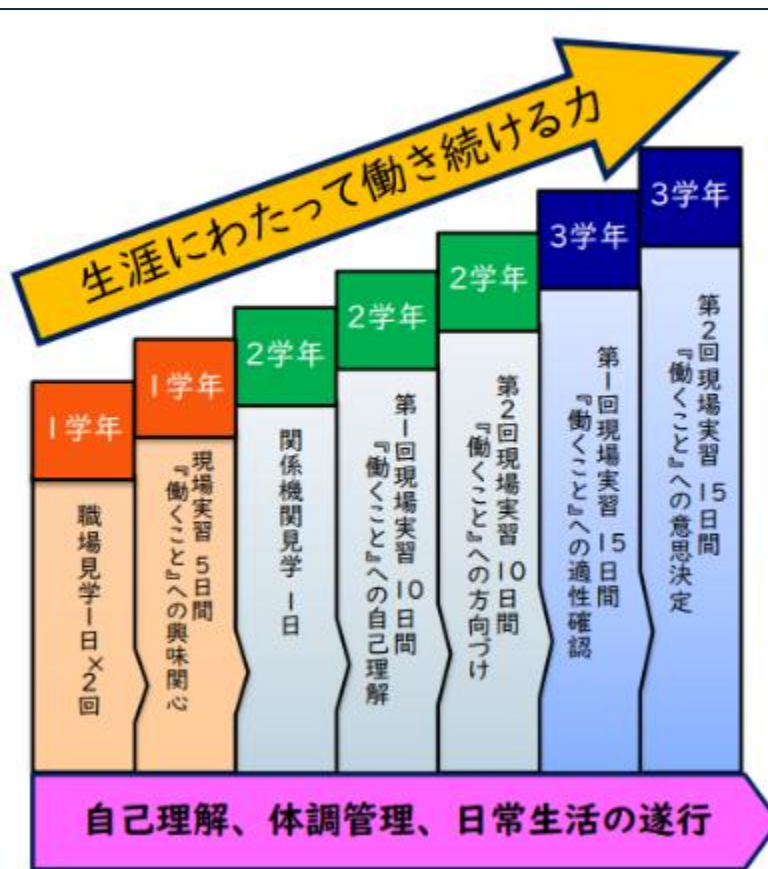
日野中央 



二つ橋 



若葉台 



## 1年生：自分を知る「チャレンジワーク」

1年生では、まず自分自身を知ることから始めます。4つの職業コースで、就職先として多い8つの職種を体験します。近隣企業での職業体験（チャレンジワーク）を通して、働くことへの関心を高め、自己理解を深めます。

＜4つの職業コースと体験できる職種の例＞

オフィス・ロジ：名刺作成、印刷物作成、校内物品管理など  
 アメニティサービス：ベッドメイキング、居室清掃、高齢者・幼児の支援補助など  
 製造・加工：農作物の栽培、ハイドロカルチャー作成、カフェ用の備品製作など  
 フードサービス：カフェメニューやクッキー作り、カフェ運営、出張販売など

## 2年生：視野を広げる「現場実習」

2年生では、より具体的な職業観を養うため、年2回の現場実習を行います。

前期（6月頃）：「希望職種」での実習

後期（10月頃）：「希望条件」も踏まえた実習 それぞれ1週間程度、実際の職場で働く経験を積みみます。

## 3年生：未来をつかむ「進路決定実習」

3年生は、卒業後の進路を決定するための重要な時期です。年2回、それぞれ2週間程度の現場実習を行い、卒業後の自分を見据えて取り組みます。

	校内実習	職場と学校をつなぐ	現場実習
1年生 基礎	<b>トライアル実習</b> ■ 全員3コースを体験する ■ 1年間に2～3回ローテーションする	学校での学びを 実習で応用する	<b>①若葉台で実習</b> ■ 働くことを体感する ■ 小グループ ■ 1週間 ■ 10月
2年生 発展	<b>コース選択</b> ■ 2年進級時に第1・第2希望から選択する		②適性を知る実習 ■ 4つの職種を体験する ■ 小グループ①～④ 1人1社 ■ 4日間 ■ 6月に2回・10月に2回
3年生 応用	地域に展開する 校内実習 オフィスサポート ビルメンテナンス パン販売	自治会総 会資料印 刷など 市営バス や営業所 の清掃委 託など カフェわか ば・ケア プラザなど のパン販売	③適性を見極める実習 ■ 職種を選択する ■ 1人1社 ■ 1週間 ■ 1月
		キャリア デザイン	④就労体験実習（前期） ■ 就労を目指して ■ 1人1社 ■ 2週間 ■ 5月～6月
		成果や課題を校内実習や 教科の学習につなげる	⑤就労体験実習（後期） ■ 就労を目指して ■ 1人1社 ■ 2週間 ■ 10月～11月
卒業後	卒業支援		3年間の定期訪問 それ以降は相談支援 就労支援センターとの連携

## 2 募集要項について

# Ⅰ 志願資格

(募集要項1ページ上の方)

志願資格を有する者は  
次の要件(1)から(6)を  
すべて満たした者とします。

# 「志願資格の要件」

## (1) 知的障害がある者

愛の手帳（療育手帳）を取得している者、もしくはIQ75以下の者（横浜市の基準に準ずる）。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/fukushi-kaigo/fukushi/annai/techo/ai.html>

## (2) 将来、企業等への就労を目指す者

# 「志願資格の要件」

(3) 公共交通機関等を利用して、  
自力での通学や校外における学習  
活動への参加が可能な者

(4) 志願相談を済ませた者

# 「志願資格の要件」

(5) 保護者(親権者又は後見人等をいう。以下同じ)と同居している者で、令和9年4月1日現在及びそれ以降も横浜市内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き横浜市内から通学することが確実な者

※志願時に横浜市外に居住している者については、別に定める。



※出願書類に(第2号様式「念書」、第14号様式「学区外受験許可書」を添付)

# 「志願資格の要件」

(6) 令和9年3月31日までに中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校中学部、又は外国での中学校相当の教育課程（以下「中学校等」という。）を卒業もしくは修了見込みの者、又は令和8年3月以降に卒業したと認められる者。

※ただし、国公立高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部及び高等専門学校に在籍している者・在籍していた者を除きます。

## 2 募集校および募集人数

(募集要項1ページ 下)

- (1) 横浜市立日野中央高等特別支援学校  
高等部 第1学年 64名程度
- (2) 横浜市立二つ橋高等特別支援学校  
高等部 第1学年 48名程度
- (3) 横浜市立若葉台特別支援学校  
知的障害教育部門  
高等部 第1学年 28名程度

# 3 志願手続（志願期間）

（募集要項2ページ上）

## ①志願期間

令和8年10月19日（月）～10月21日（水）

②受付時間 AM 10:00～12:00  
PM 13:00～15:00

## ③志願先

志願する横浜市立高等特別支援学校等

## ④志願状況結果

10月22日（木）中に、横浜市ホームページ  
上にて志願者数を公表します。

# 3 志願関係書類

(募集要項2ページ上)

次の書類を、志願者本人と保護者が直接来校して提出する。

- ・ 志願確認書
- ・ 入学願書
- ・ 個人票

※各様式はYCANからダウンロードします。

## 4 在籍又は出身校の校長が行う手続き

(募集要項～3ページ上)

(2) 調査書(第5号様式)を作成し、志願先の横浜市立高等特別支援学校等に在籍校から郵送により提出する。

**提出期限**

**令和8年11月4日(水)必着**

※記載事項のチェックを行ってからご提出下さい。

# 5 選抜検査

(募集要項3ページ下の方)

## (1) 検査期日

令和8年12月2日(水)、12月3日(木)

## (2) 検査会場

志願先の横浜市立高等特別支援学校等

## (3) 検査内容

横浜市立高等特別支援学校等での学習や学校生活について理解し、入学の意欲を判断するための適性検査を実施

※検査項目の概要及び出題例は、横浜市のHPに掲載

# 5 選抜検査

(募集要項3ページ中ほど)

(4) 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの罹患等、やむを得ない事情により適性検査の一部又は全部を受検できなかった志願者の中で、追検査の受検を志望する者を対象として次のとおり追検査を実施します。

なお、追検査の方法等に関し必要な事項は、教育長が別に定めます。

\* 追検査日時・場所

令和8年12月9日(水)

時刻 後日通知します

場所 横浜市特別支援教育総合センター

# 6 結果発表

(募集要項3ページ下)

## (1) 発表期日

令和8年12月10日(木)

13:00~14:00

## (2) 発表会場

志願先の高等特別支援学校等

## (3) 結果通知書を本人に配付

(受検票による本人確認を行います。当日は本人のみ・保護者同行どちらでも可)

7 志願者数が募集人数に満たない場合  
(以下欠員が生じた場合) の対応について  
(募集要項4ページ上)

高等特別支援学校等において  
欠員が生じた場合



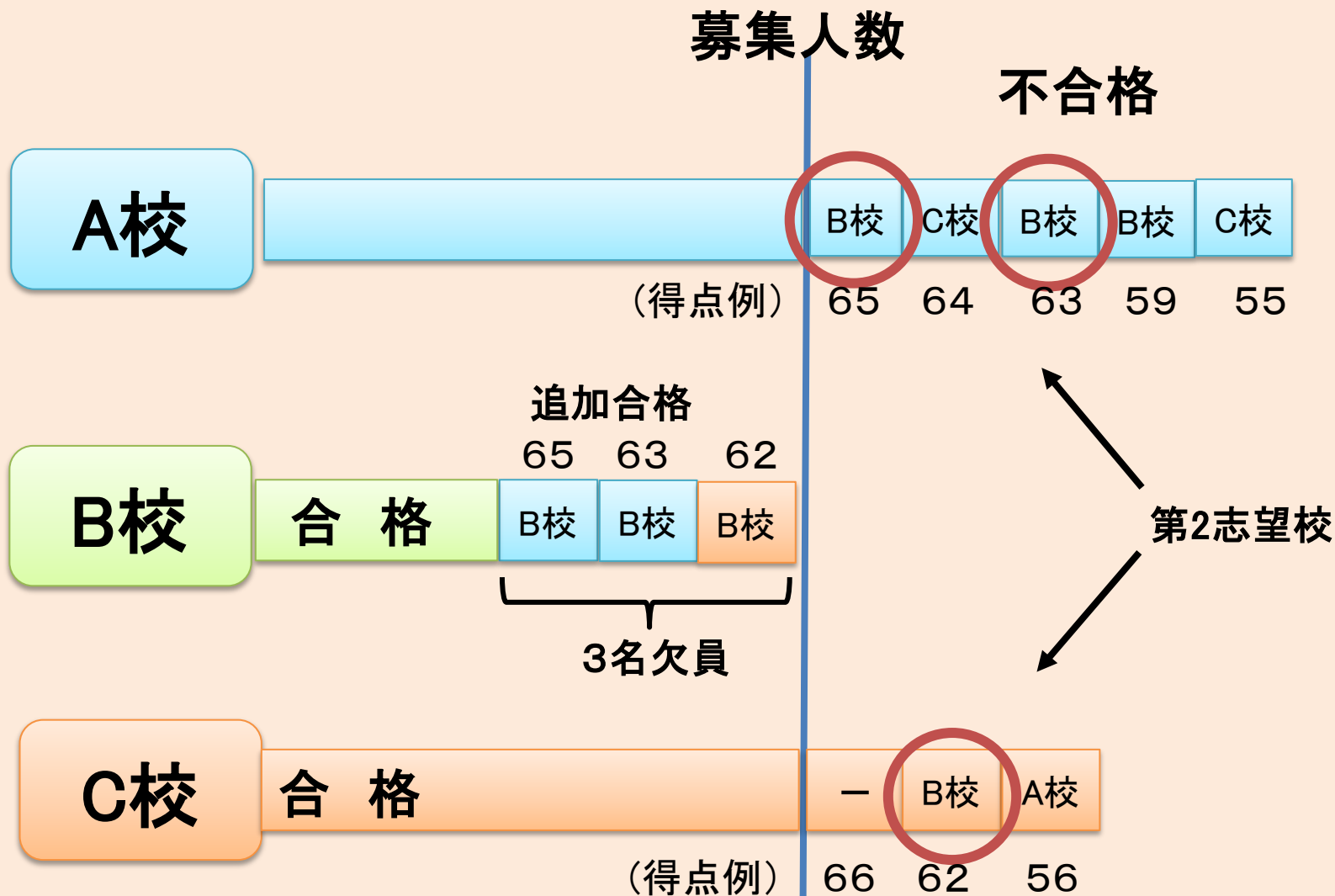
他の高等特別支援学校等の不合格者から  
追加合格を行う

## 7 志願者数が募集人数に満たない場合 (以下欠員が生じた場合)の対応について

高等特別支援学校等3校間において、  
第1志望校(受検をする学校)の他、  
第2志望校、第3志望校を記載すること  
ができます。

第1志望校が不合格であっても、  
第2志望校または第3志望校に追加合  
格となる場合があります。

# 7 志願者数が募集人数に満たない場合 (以下欠員が生じた場合) の対応について



## 7 志願者数が募集人数に満たない場合 (以下欠員が生じた場合)の対応について

追加合格者が確定したうえで、  
なお欠員が生じている学校がある場合は  
後期選抜を行います。

後期選抜の志願資格については志願資格の  
(1)～(6)に加えて次の(7)の条件も  
合わせて満たす者とします。

# 「後期選抜志願資格の追加要件」

(7)

横浜市立特別支援学校高等部  
(知的障害教育部門)

令和9年度入学者選抜に出願した者又は、  
令和9年度神奈川県立特別支援学校高等  
部(知的障害教育部門)の一次募集前期選  
抜に出願した者のうち、入学が決まらな  
かった者。

## 7 志願者数が募集人数に満たない場合 (以下欠員が生じた場合) の対応について

### 後期選抜の実施に関して

予定日時に関しては  
前期選抜 結果発表後に  
ホームページにて  
お知らせいたします。

## 8 その他

この募集要項に定める提出書類について、重要事項の誤記その他事実と反する記載が合格後に判明した場合は、入学を許可しないことがあります。

# 3 志願相談について

# 1 目的

高等特別支援学校等への志願資格を確認する

★高等特別支援学校等の受検をする場合は、この志願相談を受けることが必要になります。

## 2 相談期間

令和8年8月下旬～10月上旬

※開催日は各校により異なる

※1組約20分

(相談開始10分前には来校)

## 3 相談会場

※志願予定の

横浜市立高等特別支援学校等

# 4 相談対象者

※高等特別支援学校等への志願を考えている  
中学3年生とその保護者

相談対象者を支援する者として、次の者の同席  
を可とします。

- ・在籍校教職員等
- ・外国語、手話通訳者
- ・児童相談所、区役所等公的機関職員
- ・基幹相談支援センター等職員

# 5 相談対応者

高等特別支援学校等の教職員

# 6 当日持参するもの

- ・志願相談用資料…保護者が作成する  
（必要に応じて在籍校と相談する）
- ・療育手帳（愛の手帳）  
未取得の場合、発達検査の記録  
（検査機関・年月日・結果）  
があればご提示をお願いします

# 7 相談までの流れ

市内全中学校等へ通知:6月5日(金)

横浜市教育委員会HP掲載:6月5日(金)

高等特別支援学校等3校HP掲載:6月5日(金)

・相談日決定

電子申請システムでの申し込みとなります。

# 8 申し込みまでの手続き

## ①在籍校担任→保護者

高等特別支援学校等からの通知を在籍校からもらう

## ②保護者→高等特別支援学校等

電子申請システムで申し込む

(在籍校担任とも、申し込んだ日程の共有をお願いいたします)

\*明確に志願先が決まっていない場合は、  
志願相談申し込み時点での第1志望校に申し込んでください